


## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

学 校 (6名) (校長・教頭・教務・生徒指導主事・保健主事・研究主任)

学校関係者評価委員 (5名) 地域住民 小中連携 保小連携 PTA代表 (2名) (1名) (1名) (1名)
※地域コーディネーター (4名) 地域住民 (4名)

### (2) 協議会の内容

- 開催予定回数 4回
- 開催日程 5月23日、8月5日  
1月10日、1月30日
- 協議内容
  - ・学校評価について
  - ・家庭、地域、学校の連携について
  - ・地域人材、施設等の活用について
  - ・自然公園の活用と整備について
  - ・地域行事への児童の参加について
  - ・地域での児童の様子について

### (3) 協議会における成果と課題

児童の地域での様子を伺うことができたのが、生徒指導上とても参考になった。例えば、ヘルメットをかぶって自転車に乗っている児童が少なかったり、コンビニのイトインで長い時間話し込んでいる児童がいたりすることなどである。自転車のヘルメット着用率が低いこと背景として次の三つがあげられた。一つ目は、自転車に乗るときにヘルメットが命を守るということの認識不足。二つ目は、小学生は成長が早く次々とヘルメットを買い換えなければならず経費がかかること。三つ目は、ヘルメットの購入補助が学校から出ることの周知が不足していること。その意見を受け、保育園でもヘルメット着用を呼びかけてもらったり、PTAの健康安全委員会から自転車に乗る機会が増える夏休み前にヘルメット着用を呼びかけたり、補助制度について再度知らせるお便りを出したりした。

評価委員の皆さんは、とても学校に関心を寄せていただいているが、忙しい方々なので学校公開の日すべてに様子を見に来ていただくのは、なかなか困難であった。

## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

体験を通して宮崎地区の歴史と伝統文化を学び、地域を愛し、地域に貢献しようとする心情と態度を養う。

### (2) 活動の実際

#### ①地域を紹介する番組作成 (5年生)

丹南ケーブルの企画で学校の自慢を紹介する番組を撮ることになり、5年生が総合的な学習で取り組んだ。番組の内容について話し合い、公園走大会・体育大会・広い校舎など宮崎小学校の自慢と5年生が考えていることについて取材したり、我が町が誇る企業、村田製作所について紹介したりした。



## ②地域学習発表会（1～6年生）

2学期の保護者会の公開授業を兼ねて、全ての学年が地域学習発表会を行った。自然公園や町探検、福祉施設訪問、越前焼体験などで学んだことをプレゼンテーションソフトや紙芝居を使って発表したり、劇や歌、合奏も入れたりして工夫を凝らした。楽しい発表に、参観者からは笑いや称賛の拍手が自然と沸き起こっていた。



## ③地域の伝統工芸を生かした卒業制作（6年生）

宮崎地域コミュニティ事務局員の働きかけにより地元の小学生が地域の伝統工芸を生かした卒業制作をした。児童一人一人のオリジナル表札を制作することにより、一生の思い出となり、地域を愛する心を育むことを目的としている。

制作に当たっては、宮崎地区で活躍されている伝統工芸士の資格を持った陶芸作家を学校に招き、制作の指導をしていただいた。



## （3）地域コーディネーターの活動概要

5月23日（木）に地域コーディネーター会議を開催し、趣旨を説明して協力を呼びかけた。その結果、越前町子ども会の新聞作りを各地区で行ったり、越前焼の体験や越前焼についての研究・制作の協力を得たりすることができた。また、地域コーディネーターの積極的な働きかけによって、越前焼による卒業制作を継続して行うことができた。

## （4）特に工夫した事項

今までも、地域の人材や施設・設備を活用し、様々な体験活動に取り組むことができていた。しかし、学習した成果について発表したり、お世話になった人たちに情報を発信したりすることができないことが課題となっていた。

そこで、前年度に引き続き、学習成果を地域の方や保護者に発信することを目的として、宮崎コミュニティセンターのコミセン祭りにおいて地域学習紹介コーナーを設置し、多くの住民に見ていただいた。また、2学期の保護者会に地域学習発表会を実施することにより、地域から児童が学んだことを広く知ってもらった。その際、兄弟が複数いる保護者でも発表が見やすいように発表の形態や場所を工夫し、我が子の出番がいつになるか分かるようなお知らせを出すようにした。

## （5）成果と課題

今年度も、各学年の児童が地域に出たり、地域の人材を活用した様々な体験活動を行ったりすることができた。昨年度に引き続いての目標であった「学習成果を地域に発信すること」ができたことが大きな成果であった。地域学習発表会については昨年度の反省を生かして取り組みを改善したが、一学年当たりの発表時間が増えたために、練習に時間がかかり、事前に異学年で見合うことができなかった。来年度はその点を改善していきたい。